

—2011～2015年 大学のアクティブラーニングの進化と新しい課題—

導入からカリキュラムマネジメントへ。

日時

2016年3月4日(金) 10:00～17:30

場所

河合塾 麹町校 8階 デルファイホール

対象

大学、短大、専門学校でカリキュラム設計に関わる方
およびアクティブラーニングに取り組む教員の方

定員

60名

受講料

おひとり 10,000円 (税込)
(「2015年度大学のアクティブラーニング
調査報告書」資料代と昼食代を含む)

概要

「アクティブラーニングとは何ですか?」。4年前に実地調査で訪問した大学から、このように質問されることが多かったことからすれば、現在のアクティブラーニングをめぐる状況には隔世の感があります。しかし、実態として大学のアクティブラーニングはどれほど進化してきたのでしょうか。個々の科目へのアクティブラーニングの導入は進んでいます、アクティブラーニングで科目間を結びつけるカリキュラムの面ではどうでしょう。学生の成長をアセスメントし、カリキュラムや授業改善のPDCAを回していく面ではどうでしょうか。

本セミナーでは、アクティブラーニングが広がる中での新しい課題であるカリキュラムマネジメントを中心に、4年間の変化についての定量的な分析と先進事例の紹介、参加者によるワークショップ、京都大学の溝上慎一教授によるラップアップ等を通じて、アクティブラーニングの現状と可能性に迫ります。

プログラム

9:30～	開場
10:00～10:05	開会
10:05～11:05	第1部 「2015年度大学のアクティブラーニング調査」結果報告 河合塾大学教育力調査プロジェクトチーム
11:05～12:35	第2部 大学からの事例報告 創価大学 経営学部 教授 中村みゆき 首都大学東京 都市環境学部 分子応用化学コース 教授 川上浩良 國學院大學 法学部 教授 中川孝博
12:35～13:35	ランチセッション
13:35～14:05	質疑応答
14:05～16:20	第3部 ワークショップ 全体進行：河合塾 開発研究職 成田秀夫
16:20～17:20	第4部 ラップアップ 京都大学 高等教育研究開発推進センター 教授 溝上慎一
17:20～17:30	閉会

※プログラムは予定です。内容や進行を一部変更することがございます。

大学からの事例報告



<略歴>
創価大学経営学部副学部長。専門は、コーポレート・ファイナンス、証券市場論。博士(経済学)。所属学会は、証券経済学会など。学部授業に2002年よりアクティブラーニングを導入、長年にわたり実績を積み、現在は創価大学の「文科省大学教育再生加速プログラム」を先導する中核メンバーとして活躍。主な著書に、『政府系ファンドの投資戦略と投資家動向—シンガポールにおける事例研究—』(2013年 政務経理協会)などがある。

中村みゆき
創価大学
経営学部
経営学科教授

大学からの事例報告



<略歴>
首都大学東京 学長補佐兼大学教育センター副センター長。専門は、高分子化学、機能性分離膜、ナノファイバー、バイオマテリアル、エビジェネティクス工学、フリーランカル科学。所属学会は、高分子学会(前関東支部理事)、編集委員、燃料電池材料研究会委員長ほか、日本化学会(前高分子ディビジョン、幹事ほか)、日本膜学会(評議員、編集委員、組織委員ほか)ほか。受賞歴は、2005年ボルフィリン学会賞、2006年日本人工臓器学会論文賞、2010年Who's Who in the Worldほか。

川上浩良
首都大学東京
都市環境学部
分子応用化学
コース教授

大学からの事例報告



<略歴>
國學院大学法学部におけるFDワーキングチームの中核メンバーとして長年に亘って活躍。ティーチングポートフォリオの作成、アクティブラーニングの活用を柱とする法学部教育改革の提言を行うなど、大学全入時代の法学部生き残りかけた法学部改革をリードしてきた。また、担当する裁判法A(刑事訴訟法入門)や刑事訴訟法の講義においては、アクティブラーニングを活用した新しい教育方法を実践しており、その成果を『法学部は甦る!』(2014年初次教育の改革)(2014年 現代人文社)として公開。

中川孝博
國學院大學
法学部法律学科
教授

ラップアップ



<略歴>
京都大学大学院教育学研究科兼任。桐蔭学園教育顧問。日本青年心理学会常任理事、大学教育学会常任理事、“Journal of Adolescence” Editorial Board委員ほか。京都大学博士(教育学)。専門は、青年心理学(現代青年期、自己・アイデンティティ形成、自己の分権化)と高等教育(学習と成長パラダイム、アクティブラーニング、学校から仕事・社会へのトランジション)。主な著書に、『アクティブラーニングと教授学習パラダイムの転換』(2014年 東信堂,単著)などがある。

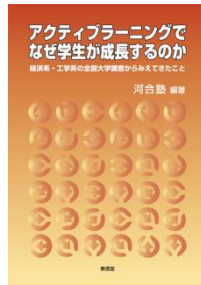
溝上 慎一
京都大学高等
教育研究開発
推進センター
教授

河合塾は、偏差値だけではない大学選びの指標として「教育力」に注目し、2006年度から大学教育力調査プロジェクトを開始しました。以来10年間で「国立大学教養教育調査」「全国大学初年次教育調査」を経て、2010年度からは6年間にわたって「大学のアクティブラーニング調査」に継続的に取り組んでいます。それらの成果を還元する大学教員向けFDセミナーも今回で6回を数え、報告書籍の出版も4冊に上ります（東信堂より出版）。



初年次教育でなぜ学生が成長するのか

2010年6月1日発行
定価：2800円+税



アクティブラーニングでなぜ学生が成長するのか

2011年6月1日発行
定価：2800円+税



「深い学び」につながるアクティブラーニング

2013年4月1日発行
定価：2800円+税



「学び」の質を保証するアクティブラーニング

2014年06月05日 発行
定価：2000円+税

会場ご案内

河合塾 麹町校8階 デルファイホール

東京都千代田区六番町1-3



- ・JR総武線市ヶ谷駅より徒歩3分
- ・東京メトロ有楽町線・南北線・都営新宿線市ヶ谷駅3番出口より徒歩3分
- ・JR中央線・総武線四ツ谷駅麹町口より徒歩5分
- ・東京メトロ丸ノ内線・南北線四ツ谷駅1番出口より徒歩6分
- ・東京メトロ有楽町線麹町駅6番出口より徒歩2分

お申込み方法(定員60人になり次第締め切りとさせていただきます)／お問い合わせ

【お申込み期間】 2016年1月29日(金) 18:00～ 2016年 3月 1日(火)17:00

【参加費用(報告書代および昼食代含む)】 おひとり ¥10,000(税込)※当日受付にてお支払い願います。

【お申込み方法】 下記WEBサイトよりお申し込みください。

WEB: <http://www.kawai-juku.ac.jp/info/active/>

【お問い合わせ】 e-mail : zemiryoku@kawai-juku.ac.jp

河合塾教育研究部 大学のアクティブラーニング調査事務局